



JASDAQ

平成20年12月24日

各 位

株式会社 焼肉屋さかい
代表取締役社長 緒方 智
(JASDAQ・コード：7622)
問合せ先 取締役管理本部長 乗松 康弘
TEL：052(910)1729

第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、第三者割当により発行される株式の募集について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

発行要領

(1) 発行新株式数	普通株式 1,800,000株
(2) 発行価額	1株につき金 100円
(3) 発行価額の総額	180,000,000円
(4) 資本組入額	1株につき金 50円
(5) 割当方法	第三者割当による
(6) 申込期間	平成21年1月13日(火)から 平成21年1月15日(木)まで
(7) 払込期日	平成21年1月16日(金)
(8) 割当先及び割当株式数	株式会社ジー・コミュニケーション 900,000株 株式会社大光 300,000株 株式会社トーア食産 200,000株 デリカフーズ株式会社 100,000株 株式会社ファームランド 100,000株 株式会社松屋栄食品本舗 100,000株 株式会社マルマサフード 100,000株 計 1,800,000株

(9) 前号各号については金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

以上

【ご参考】

現在の発行済株式総数	20,627,000株(平成20年12月24日現在)
(現在の資本金の額)	1,639,805,083円
今回の増加株式数	1,800,000株
(増加する資本金の額)	90,000,000円
増資後発行済株式総数	22,427,000株
(増加後資本金)	1,729,805,083円

1. 増資の目的及び理由

(1) 増資の目的

当社は創業以来、企業理念として「飲み、輝き、人とともに」人間的に顧客に愛され永遠に発展する躍動的な企業を目指すことを掲げ、東海地区を地盤に、お手頃な価格、親しみやすい店舗づくりによる焼肉業態を中心に全国展開いたしております。

近年におきましては類似企業の増加に加え、BSE問題により消費が低迷しておりました中、平成19年4月に行われました当社株式の公開買付を受け、株式会社ジー・コミュニケーション(本店所在地 名古屋市中区)を親会社とする企業グループに属することとなりました。以降、同社および同社グループの店舗運営ノウハウの共有やグループ運営によりスケールメリットを共有することが可能となり、業績の低迷からの脱却に注力してまいりました。その結果、直近の事業年度である平成20年3月期におきまして、営業利益および経常利益では4期ぶりに、当期純利益では5期ぶりとなる黒字化を達成し、今期業績につきましても、この第2四半期末におきまして当期純利益を計上しており、着実に業績の回復は進んでおります。

このように経営成績には回復がみられる一方で、財務面におきましてはBSE問題に端を発しました平成15年12月の米国産牛肉の輸入停止措置、風評被害などの影響から売上高が低迷し、平成16年4月期から平成19年3月期までの間、4期連続の当期純損失を計上したことにより、有利子負債が総資産に占める割合(50.1% 平成20年9月30日現在)は依然として高く、かかる財務面の再構築が急務となっております。当社としましては可及的速やかに有利子負債の圧縮を目指していることから、営業キャッシュ・フローをもって借入金返済等に充当し、有利子負債の圧縮へ充当しております。一方でこれまで、営業キャッシュ・フローをもって有利子負債を早期に圧縮することで、今後の事業展開に向けた資金確保が充分とはいえず、今後の事業展開に向けた事業資金の確保が必要となっております。今後の事業展開としましては、平成20年9月2日付けにて発表させていただいております「牛井屋さかいの運営に関するお知らせ」などのおおりに、新たな業態にも進出しており、事業拡大に向け、内部留保を充実することが重要な要素となっております。

そのため、このたびの第三者割当による新株式の発行につきましては、平成20年9月30日付けにて発表させていただいております「レストラン事業の一部譲渡に関するお知らせ」における譲渡時の理由と同様に当社の事業進捗における機動性を確保するため、当該増資を実施することで新たに取り組んでおります「牛井業態」の拡大や新規出店などの展開に備えることを第一の目的といたしております。また当該新株式の発行において、事業拡大および進捗による収益により、内部留保を充実させ、株主の皆様への利益還元においても早期化に繋がるものと考えております。

上記の目的により、第三者割当により当該新株式の発行を行うものであり、当社の事業運営に深くご理解いただいております関係先およびお取引先に割当させていただくものであります。

(2) 第三者割当による新株式発行の方法を選択した理由

上記「(1)増資の目的」に記載のとおり、当社における総資産に占める有利子負債比率(平成20年9月30日現在 50.1%)が高水準にあることから、これ以上の間接金融によらず、直接金融により資金調達することといたしました。また資金調達時期が明確であり、店舗等の出店計画を確実に決定することが可能である点から、第三者割当による新株式発行の方法を選択いたしました。

2. 調達する資金の額及び用途

(1) 調達する資金の額(差引手取概算額)

調達する資金の総額	180,000,000円
発行諸費用の概算額	1,200,000円
差引手取概算額	178,800,000円

(2) 調達する資金の具体的な使途

当該第三者割当による新株式発行における資金の使途につきましては、差引手取概算額178,800,000円のうち、現在、詳細なマーケティングを実施しております牛井業態等の拡大に向けた新規出店費用（保証金等含）として120,000,000円、店舗リニューアル費用として40,000,000円、残額18,000,000円を今後の事業展開のため物件調査、メニュー開発、業態調査等の運転資金として充当する予定であります。

(3) 調達する資金の支出予定時期

平成21年2月～3月 新規出店工事・保証金、店舗リニューアル費用等 60,000,000円

平成21年4月～6月 新規出店工事・保証金、店舗リニューアル費用等 100,000,000円

上記のほか、事業展開のため物件調査、メニュー開発、業態調査等の運転資金に充当する予定であります。

(4) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

当社は平成20年3月期に5期ぶりの当期純利益を計上いたしましたが、長期間に亘る純損失の計上から、平成18年6月における新株予約権の発行に伴う権利行使までの一時期において、債務超過に陥っていた時期もあり、平成19年3月期までは、「継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況」が付されておりました。そのため平成20年3月期以降におきましても、間接金融における制約が存在する状況でありました。そのため業績の回復とともに、非常に借入依存度が高い状態でありました財務体質の改善が非常に急務となっております。

依然として総資産に占める割合の高い有利子負債の減少を営業キャッシュ・フローから充当することで、負債の圧縮を進め、収支バランスを均一にしていこうとすることで財務体質の改善を図っておりますが、あわせて今後の業績拡大に向けた新規出店費用等を確保することで、当社の業績拡大、安定化に加え、内部留保の増加に繋がるものであり、将来的な配当原資の確保になると考えております。

従いまして、かかる資金調達は当社の企業価値向上を通じて既存株主の利益に資するものであると認識しており、その資金使途には合理性があると判断しております。

3. 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

(単位：百万円)

決算期	平成18年4月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	14,039	12,317	11,467
営業利益	△32	△131	813
経常利益	△125	△248	688
当期純利益	△3,563	△777	654
1株当たり当期純利益(円)	△654.30	△47.92	32.01
1株当たり配当金(円)	—	—	—
1株当たり純資産(円)	△241.92	41.84	72.40

(注) 平成18年6月5日開催の臨時株主総会において、事業年度末日を3月31日に変更いたしております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	20,627,000株	91.6%
現時点の行使価額における潜在株式数	—株	—%
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—株	—%
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—株	—%

(注) 上記潜在株式数は、平成20年12月24日時点の条件で算出のうえ記載しております。

(3) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

発行期日	平成21年1月16日
発行株式数	1,800,000株
調達資金の額	180,000,000円
募集時における発行済株式数	20,627,000株
当初の資金使途	新規店舗設備及び運転資金
割当先	株式会社ジー・コミュニケーション 株式会社大光 株式会社トーア食産 デリカフーズ株式会社 株式会社ファームランド 株式会社松屋栄食品本舗 株式会社マルマサフード

(4) 最近3年間に行われたエクイティ・ファイナンスの状況

①第8回新株予約権証券

申込期日	平成18年6月6日
新株予約権の権利行使期間	平成18年6月7日～平成21年6月6日
調達資金の額	3,000,000,000円（新株予約権行使時 1株につき200円）
募集時点における発行済株式数	5,627,000株
現時点における行使状況	行使済株式数 15,000,000株（平成18年7月27日）
当初の資金使途	店舗リニューアル設備資金及び借入金返済
支出予定時期	平成18年8月より随時支出
現時点における充当状況	借入金返済に全額充当いたしております。

(5) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	平成18年4月期	平成19年3月期	平成20年3月期
始 値	1,210円	895円	498円
高 値	1,385円	895円	500円
安 値	810円	477円	131円
終 値	900円	497円	146円

②最近6ヵ月の状況

	平成20年6月	平成20年7月	平成20年8月	平成20年9月	平成20年10月	平成20年11月
始 値	138円	135円	135円	103円	112円	107円
高 値	138円	148円	135円	121円	113円	112円
安 値	132円	133円	108円	95円	84円	105円
終 値	135円	135円	108円	111円	105円	107円

③発行決議日の直前日における株価

	平成20年12月22日
始 値	110円
高 値	110円
安 値	109円
終 値	110円

4. 増資後の大株主および持株比率

募集前（平成20年12月24日現在）		募集後	
(株)ジー・コミュニケーション	51.00%	(株)ジー・コミュニケーション	50.92%
(有)サカイ産業	4.01%	(有)サカイ産業	3.69%
稲畑産業(株)	3.99%	稲畑産業(株)	3.67%
坂井 大介	3.83%	坂井 大介	3.53%
坂井 哲史	0.98%	株式会社大光	1.33%
(株)J・ARTドリーム	0.96%	坂井 哲史	0.90%
自己株式	0.87%	(株)J・ARTドリーム	0.89%
井川 賢二	0.79%	株式会社トーア食産	0.89%
福井 巖	0.77%	自己株式	0.80%
(株)ジェイ・アート・レストランシステムズ	0.48%	井川 賢二	0.73%

(注)平成20年9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された状況から、本日現在までに大量保有報告書等による移動確認等において当社が確認している状況に、当該増資により新たに交付予定の新株式数を反映いたしております。

5. 業績への影響の見通し

当該第三者割当による新株式発行により得られる資金を新規出店設備並びに既存業態の拡大のために投下することで、業績向上による企業価値の増大および手元流動性の向上に寄与するものと考えておりますが、現時点におきましては、新規出店開店日等の具体的なスケジュールは決定していないため、業績への影響は明確ではありません。

具体的な新規出店投資による業績への影響につきましては、次期以降の事業計画において明確になる見通しです。明確になり次第、直ちにお知らせいたします。

6. 発行条件等の合理性

(1) 発行価額の算定根拠

当該増資に係る取締役会の直前日（平成20年12月22日）に株式会社ジャスダック証券取引所が公開した当社普通株式の普通取引の最終価格（110円）を参考として、割当先における中長期的な協力関係を確保していることを考慮しつつ、割当先と協議のうえ、100円（ディスカウント率9.1%）といたしました。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した理由

今回の第三者割当による新株式の発行において、発行規模は発行済株式数の8.7%であり、本件資金調達により既存株式に対する希薄化が生じ、一定の影響を及ぼすものではございますが、今回の第三者割当による発行される株式の募集は、自己資本を増強することで財務体質を強化していく中での、業績拡大に向けた新規出店費用等を確保することであり、当社の業績拡大、安定化に繋がるものであり、企業価値の向上が達成されると考えており、今回の発行数量は合理的な規模の発行であると判断いたしております。

7. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

① 商号	株式会社ジー・コミュニケーション		
② 割当株数	900,000株		
③ 払込金額	90,000,000円		
④ 事業内容	グループホールディングス会社・コンサルティング事業・デザイン施工業		
⑤ 設立年月日	平成9年6月5日		
⑥ 本店所在地	名古屋市北区黒川本通五丁目12番地の3		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 稲吉 正樹		
⑧ 資本金の額	3,754,010,000円		
⑨ 発行済株式数	14,249,000株		
⑩ 純資産	8,678百万円		
⑪ 総資産	14,346百万円		
⑫ 事業年度末日	5月31日		
⑬ 従業員数	151名		
⑭ 主要取引先	ホンザキ東海(株)、神田印刷工業(株)、鈴木木芸工業(株)		
⑮ 大株主及び持株比率	稲吉 正樹 (70.3%) 株式会社ジャフコ及び系列投資組合 (4.7%) Oakキャピタル株式会社 (3.3%) エヌ・アイ・エフSMB Cベンチャーズ株式会社及び系列投資組合 (3.0%) 株式会社West Trading (1.7%)		
⑯ 主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、りそな銀行、三井住友銀行		
⑰ 当社との関係	資本関係	当社株式 10,520,000株を保有しております。	
	取引関係	店舗施工等に係る取引を行っております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	当社親会社であります。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年5月期	平成19年5月期	平成20年5月期
売上高	2,836百万円	3,578百万円	4,565百万円
営業利益	245百万円	58百万円	109百万円
経常利益	492百万円	521百万円	670百万円
当期純利益	345百万円	△27百万円	75百万円
1株あたり当期純利益(円)	32,092.16	△2,092.82	5,499.36
1株あたり配当金(円)	6,000.00	6,000.00	6,000.00
1株あたり純資産(円)	323,288.85	509,710.96	611,087.54

① 商号	株式会社大光		
② 割当株数	300,000株		
③ 払込金額	30,000,000円		
④ 事業内容	総合食品商社		
⑤ 設立年月日	昭和25年6月1日		
⑥ 本店所在地	岐阜県大垣市浅草二丁目66		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 金森 武		
⑧ 資本金の額	96,000,000円		
⑨ 発行済株式数	192,000株		
⑩ 純資産	913百万円		
⑪ 総資産	11,349百万円		
⑫ 事業年度末日	5月31日		
⑬ 従業員数	441名		
⑭ 主要取引先	(株)トーカン、(株)菱食、国分(株)		
⑮ 大株主及び持株比率	金森 武 (36.9%) 金森 久 (15.6%) 金森 勤 (10.4%) 金森 智 (10.4%) 土川 久子 (3.1%)		
⑯ 主要取引銀行	大垣共立銀行		
⑰ 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	乾物、一般食材を仕入いたしております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年5月期	平成19年5月期	平成20年5月期
売上高	30,507百万円	31,730百万円	32,159百万円
営業利益	220百万円	529百万円	245百万円
経常利益	47百万円	683百万円	246百万円
当期純利益	△510百万円	287百万円	83百万円
1株あたり当期純利益(円)	△2,656.27	1,495.71	433.37
1株あたり配当金(円)	100.0	100.0	100.0
1株あたり純資産(円)	3,357.12	4,636.15	4,758.47

① 商号	株式会社トーア食産		
② 割当株数	200,000株		
③ 払込金額	20,000,000円		
④ 事業内容	食材の加工・卸売業		
⑤ 設立年月日	昭和57年3月17日		
⑥ 本店所在地	福岡県粕屋郡粕屋町大字阿恵453-1		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 嵐 哲也		
⑧ 資本金の額	30,000,000円		
⑨ 発行済株式数	60,000株		
⑩ 純資産	321百万円		
⑪ 総資産	402百万円		
⑫ 事業年度末日	2月28日		
⑬ 従業員数	31名		
⑭ 主要取引先	プリマハム(株)、(株)丸協食産、(株)トーホー		
⑮ 大株主及び持株比率	株式会社オラージュ (82.2%) 板谷 修 (17.7%)		
⑯ 主要取引銀行	西日本シティ銀行		
⑰ 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	仕入食材の加工に関する取引を行っております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年2月期	平成19年2月期	平成20年2月期
売上高	1,252百万円	1,252百万円	981百万円
営業利益	15百万円	21百万円	19百万円
経常利益	19百万円	39百万円	18百万円
当期純利益	12百万円	24百万円	10百万円
1株あたり当期純利益(円)	207.34	405.81	179.31
1株あたり配当金(円)	75.00	75.00	300.00
1株あたり純資産(円)	4,993.60	5,257.75	5,362.07

① 商号	デリカフーズ株式会社		
② 割当株数	100,000株		
③ 払込金額	10,000,000円		
④ 事業内容	食材の加工・卸売業		
⑤ 設立年月日	平成15年4月1日		
⑥ 本店所在地	東京都足立区保木間二丁目29番15号		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 館本 勲武		
⑧ 資本金の額	759,750,000円		
⑨ 発行済株式数	15,605.92株		
⑩ 純資産	2,367百万円		
⑪ 総資産	2,425百万円		
⑫ 事業年度末日	3月31日		
⑬ 従業員数	180名		
⑭ 主要取引先	全国農業協同組合連合会、㈱セブン&アイ・フードシステムズ		
⑮ 大株主及び持株比率	館本 勲武 (40.19%) 岡本 高宏 (4.64%) デリカフーズグループ従業員持株会 (3.58%) デリカフーズ株式会社 (2.97%) 鬼頭 利光 (2.77%)		
⑯ 主要取引銀行	みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行		
⑰ 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	カット野菜等の食材の仕入れを行っております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	318百万円	367百万円	430百万円
営業利益	91百万円	80百万円	108百万円
経常利益	104百万円	85百万円	115百万円
当期純利益	78百万円	66百万円	93百万円
1株あたり当期純利益(円)	6,001.31	4,299.07	6,145.13
1株あたり配当金(円)	2,500.00	3,500.00	4,000.00
1株あたり純資産(円)	156,193.28	154,072.97	156,364.18

① 商号	株式会社ファームランド		
② 割当株数	100,000株		
③ 払込金額	10,000,000円		
④ 事業内容	食肉の加工・販売業		
⑤ 設立年月日	昭和62年4月11日		
⑥ 本店所在地	兵庫県佐用郡佐用町中島267番地		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 福盛 正人		
⑧ 資本金の額	30,000,000円		
⑨ 発行済株式数	800株		
⑩ 純資産	195百万円		
⑪ 総資産	811百万円		
⑫ 事業年度末日	3月31日		
⑬ 従業員数	45名		
⑭ 主要取引先	日本ハム(株)、野村貿易(株)、新東亜交易(株)		
⑮ 大株主及び持株比率	福盛 正人 (50.0%) 株式会社牛肉商但馬屋 (45.0%) 福盛 幸信 (2.5%) 淀谷 泰弘 (2.5%)		
⑯ 主要取引銀行	三井住友銀行、兵庫信用金庫		
⑰ 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	仕入食材の加工に関する取引を行っております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	3,517百万円	4,541百万円	2,342百万円
営業利益	78百万円	70百万円	32百万円
経常利益	72百万円	99百万円	77百万円
当期純利益	29百万円	61百万円	63百万円
1株あたり当期純利益(円)	36,727.50	76,385.00	79,982.50
1株あたり配当金(円)	—	—	—
1株あたり純資産(円)	87,930.00	164,316.25	244,298.75

① 商号	株式会社松屋栄食品本舗		
② 割当株数	100,000株		
③ 払込金額	10,000,000円		
④ 事業内容	食品の製造・販売		
⑤ 設立年月日	昭和51年8月30日		
⑥ 本店所在地	愛知県犬山市字落添20-1		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 長瀬 由和		
⑧ 資本金の額	13,000,000円		
⑨ 発行済株式数	26,000株		
⑩ 純資産	338百万円		
⑪ 総資産	1,145百万円		
⑫ 事業年度末日	2月28日		
⑬ 従業員数	125名		
⑭ 主要取引先	(株)昭和、(株)トーカン、イチビキ(株)		
⑮ 大株主及び持株比率	長瀬 由紀子 (38.6%) 長瀬 由和 (24.0%) 長瀬 栄子 (19.2%) 長瀬 竜也 (13.7%) 長瀬 廣治 (1.3%)		
⑯ 主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、名古屋銀行、中京銀行		
⑰ 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	調味料等の食材の仕入れを行っております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年2月期	平成19年2月期	平成20年2月期
売上高	1,942百万円	2,036百万円	2,039百万円
営業利益	27百万円	13百万円	5百万円
経常利益	28百万円	13百万円	4百万円
当期純利益	17百万円	21百万円	△2百万円
1株あたり当期純利益(円)	689.52	814.29	△106.37
1株あたり配当金(円)	50.0	50.0	50.0
1株あたり純資産(円)	12,320.01	13,084.30	12,927.93

① 商号	株式会社マルマサフード		
② 割当株数	100,000株		
③ 払込金額	10,000,000円		
④ 事業内容	青果物の販売並びにカット野菜、カットフルーツの製造販売事業		
⑤ 設立年月日	昭和51年9月21日		
⑥ 本店所在地	大阪府堺市中区東山682番地		
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 金澤 正巳		
⑧ 資本金の額	40,000,000円		
⑨ 発行済株式数	800,000株		
⑩ 純資産	942百万円		
⑪ 総資産	7,655百万円		
⑫ 事業年度末日	3月31日		
⑬ 従業員数	450名		
⑭ 主要取引先	全国市場、全国農業協同組合連合会		
⑮ 大株主及び持株比率	金正青果(株) (100.0%)		
⑯ 主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行		
⑰ 当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	カット野菜等の食材の仕入れを行っております。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑱ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	17,000百万円	22,500百万円	27,700百万円
営業利益	70百万円	190百万円	280百万円
経常利益	70百万円	190百万円	280百万円
当期純利益	20百万円	80百万円	110百万円
1株あたり当期純利益(円)	25	100	137
1株あたり配当金(円)	3	3	3
1株あたり純資産(円)	1,015	1,040	1,177

(2) 割当先を選定した理由

当社は「1. 増資の目的及び理由 (1) 増資の目的」に記載のとおり、当社の親会社である株式会社ジー・コミュニケーションにつきましては、これまでの出資関係を維持し、引き続き同社グループにおける経営を続けてまいります。既存取引先である株式会社大光、株式会社トーア食産、デリカフーズ株式会社、株式会社ファームランド、株式会社松屋栄食品本舗、株式会社マルマサフードにつきましては、当社の事業運営に深くご理解いただいております。中長期的な協力関係及びご支援いただけるものと判断したため、割当先として選定いたしました。

なお当該割当先におきましては、反社会的勢力との取引関係および資本関係等において、一切有しておらず、また将来におきましても同関係を有しないことを確認いたしております。

(3) 割当先の保有方針

当社は割当先との間において、割当新株式について、継続保有及び預託に関する取り決めはありませんが、中長期的視点で協力関係を構築いただけることを確認しております。

なお割当先との間において、割当新株式効力発生日（平成21年1月16日）より2年間において、当該新株式の全部又は一部譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告することの内諾を受けております。

(4) その他重要な契約等

該当事項はありません。

以上